

# 平成29年産農畜産物に係る 十勝管内農協取扱高について〔概算〕

〔平成29年12月25日  
十勝地区農業協同組合長会  
十勝農業協同組合連合会  
北海道十勝総合振興局〕

## 1 考え方

本集計は、平成29年産農畜産物に係る十勝管内24農業協同組合の取扱見込額について、農協ごと  
に試算した概算値の集計であり、商系取扱高（農協以外の一般商社等取扱分）は含んでいない  
ことから、十勝管内農業産出額とは異なる。

取扱高には、直接支払交付金、生乳生産者補給金を含むが、産地交付金、農業共済金支払額は  
含まない。

## 2 平成29年の概要

**農協取扱高は、耕種部門が増収、  
畜産部門は前年並に推移し、  
3,388億円（前年比116%）**

### ◇耕種部門取扱高◇ 1,392億円（対前年比147%〔構成比41.1%〕）

本年は、融雪が早く、春作業が順調に進んだ。その後も昨年のような長雨・台風などに見舞  
われることもなく、おおむね好天に恵まれ、生育・農作業ともに比較的順調に推移したことか  
ら、収量を確保。

- 小麦は、前年に比べ収量が大きく上回るとともに、品質も良かったことなどから、前年比  
134%増。
- 豆類は、総じて収量が前年を上回り、品質・価格も良かったことなどから、前年比83%  
増。
- ばれいしょは、比較的天候に恵まれ順調に生育し、収穫も順調に進んだことなどから、前  
年比16%増。
- てんさいは、順調に肥大し、夏以降の気温が順調に低下し、糖度も前年より上昇したこと  
から、前年比48%増。
- 野菜は、多くの品目で前年を上回る作柄となったものの、市況が低迷したことなどから、  
前年比5%減。

### ◇畜産部門取扱高◇ 1,996億円（対前年比101%〔構成比58.9%〕）

- 酪農は、昨年の長雨・台風の影響で生乳生産量は夏場まで前年を下回ったものの秋以降は  
回復したこと、乳価の上昇、子牛等の価格の好調により、前年比3%増。
- 肉用牛は、枝肉価格や素牛取引価格が前年をやや下回ったことなどから、前年比1%減。

## 3 取扱高集計結果

（単位：億円、%）

区分	平成29年（概算値）		平成28年（概算値）		対前年比		
	取扱高	構成比	取扱高	構成比	増減額	前年比	
耕種	麦類	379	11.2	162	5.6	217	234
	雑穀・豆類	200	5.9	109	3.7	91	183
	ばれいしょ	280	8.3	241	8.2	39	116
	てんさい	332	9.8	225	7.7	107	148
	野菜	195	5.7	206	7.0	△ 11	95
	その他	6	0.2	5	0.2	1	120
小計	1,392	41.1	948	32.4	444	147	
畜産	酪農	1,244	36.7	1,212	41.5	32	103
	生乳	1,042	30.8	1,029	35.2	13	101
	肉用牛	720	21.2	721	24.7	△ 1	99
	豚・鶏	16	0.5	16	0.5	0	100
	その他	16	0.5	26	0.9	△ 10	62
	小計	1,996	58.9	1,975	67.6	21	101
総合計	3,388	100.0	2,923	100.0	465	116	

※ 取扱高は税抜き。